

中学年実践例

主題名 「ふしぎな強い感動」(感動、畏敬の念)
教材名 「屋根裏のネコ」(P. 40~P. 44)

道徳的価値について

- ・ 自然の美しさや人間の心の美しさ、気高さを感じ取る心は大切なものである。
- ・ 動物の巧みさや自然の美しさに触れたとき、素直に感動する心は尊いものである。
- ・ 物事に感動できる心をもつこと、それはすなわち幸福を感じ取る心であり、自分自身の幸福追求における大きな原動力につながるものである。

児童について

- ・ 自然や音楽などの美しいもののみならず、人の心や生き物の行動を含めた気高さにも気付くようになっている。
- ・ 美しいものや気高いものに触れて感動する力が伸びてくる時期である。
- ・ 感性や知性が著しく発達する段階であるが、日常の忙しさから、美しいものや気高いものに触れる機会が少なくなっている。

教材について

人家の屋根裏でひっそりと子育てをする母ネコの愛情や生き物の巧みさに触れさせることを通して、気高いものに対して素直に感動する心を育むことにつなげることができる。

ねらい

美しいものや気高いものに気づき、そのすばらしさや力強さに感動する心情を育てる。

指導にあたって

- 教材のリード文を活用して、導入段階であらすじの確認や場面設定の確認を行う。
- 美しいものに対し素直に感動する心について、自分の捉えを表出させたり、切実な問題意識を持たせたりするために、導入では事前の実態調査から把握した自然や生き物を見て感動した場面にかかわる写真を提示する。
- 授業後、学校生活全体の中で、自然や動植物の美しさや気高さが描かれた椋鳩十の関連作品を読ませ、美しいものや気高いものに触れる機会を意図的に設定する。

板書

一生けん命なすかた
回ってもみないすかた
かしのこ
かんばつするすかた
生きる力

赤ちゃんを守るすかた
子どもを大切にしている
一生けん命
自分のことを考えない
人に見つかりないうすかた

500~600メートルはなれたところからえさをとってきた

何てことをするんだ
せ、たにおい出してやる
もう家から出ていけ
ゆるせな、何回せんは...

屋根裏のネコ

すこいなあと
感動したこと
きれいな海
道路から草
かみなり
動物の赤ちゃん
星空

人はどんなところに感動するのだろうか

感動いんどう

実践記録

	主な学習活動と児童の反応	指導上の留意点
導入	1 感動した場面の写真を見て、感動した経験について話し合う。 ・ 動物の子どもが生まれる瞬間を見たよ。 ・ コンクリートから生えてくる花を見た。 ・ 今日の空が赤くてきれいだった。 2 本時の学習のめあてをつかむ。 人は、どんなところに感動するのだろうか。	○ 実態調査から、自然や動物の巧みさや美しさに触れた経験場面にかかわる写真を提示する。 ○ 目に見えるものだけに多く感動しているが、同じ感動でも目に見えづらいものの背景を想像して感動することがあることに気付かせる。
展開	3 教材「屋根裏のネコ」を読んで、「わたし」の気持ちを中心に話し合う。 (1) ぶちネコが悪さをしたときのわたしの心情について話し合う。 ・ 許せない。 ・ 何をするんだ。 ・ またやられた。出て行ってほしい。 (2) わたしが何に感動したのかについて話し合う。 ・ 母親の子どもに対する愛情。 ・ 動物の賢さやたくましさ。 ・ 生きる力や動物の知恵。	○ 教材を感動的に読み取らせるために、リード文を活用してあらすじや場面設定を確認する。 ○ ぶちネコに悪さをされたときの私の心情に共感させ、許せないという気持ちと終末の感動とのギャップを感じさせ、なぜ感動したのかという疑問を共有する。 ○ 美しいものに感動する心についての考えを深めさせるために、なぜぶちネコに感動したのか、わたしの感動が一体何なのか考えさせ、交流させる。その際、母親の愛情だけでなく、生き物の巧みさや賢さにも気付かせる。
終末	4 感動するということについて、自分のこれまでの生活を振り返りながら考え、紹介し合う。 おばあちゃん家で子牛が産まれた。親牛は、子牛のそばにいて、ずっと体中をなめ続けていた。 5 教師の説話を聞く。	○ 自分が感動したことを紹介し合うことで、自然や動植物の美しさや気高さ、巧みさに気付かせ、自分なりの感動する心についての考えをまとめさせる。 ○ 課題が連続発展していくように、余韻をもたせる。

実践を振り返って

【成果】

- ・ 椋鳩十の作品は、鹿児島に縁のある作品のため知っている子どもも多く、資料に入り込みやすかった。
- ・ 導入場面では、自然や動物に感動した場面の写真を提示することで感動を共有することができ、めあてにつなげることができた。
- ・ ぶちネコが悪さをする場面では、登場人物の心情を考えやすく、自分事として、共感的に考えることにつながった。
- ・ 感動場面では、ぶちネコに対する否定的な思いとのギャップから、なぜ登場人物が感動したのかを主体的に考えることができた。

【課題】

- ・ 椋鳩十の作品を抜粋しているため、少し資料の説明や語句の意味を補足説明する必要がある。
- ・ 感動した理由が、わが子を守ろうとする母親の愛情（家族愛）に偏る傾向があったため、動物の巧みさや賢さに気付かせる手立てが必要であると感じた。

